

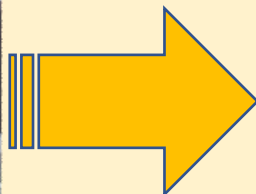
## 老人福祉農園事業（農福連携事業）・一人暮らしの高齢者交流

### ①抱えていた課題

農業に携わる人口の減少に加え、農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う耕作放棄農地が増加していたこと。また健康な高齢者の楽しみ不足とひとり住まいの高齢者増加が課題となっていた。

### ②課題に対する取組み

上記の耕作放棄農地の増加という課題に対応していくこと、また高齢者に、自分の手による野菜の収穫、花の栽培などを楽しんでもらい、生きがいを高めるとともに心身の健康保持及び、利用者同士の相互交流を図るため、耕作放棄地を福祉農園農場として活用し、市内で3ヶ所設置し、60歳以上の高齢者に無償で貸与しています。また、地域に参加・交流の場をつくり、誰もが参加しやすい活動づくりが求められていることから、65歳以上のひとり暮らし高齢者の相互交流を図るため、市内を3地区に分けて交流会を実施しています。このように高齢者の健康や生きがいづくりの支援に取り組んでいます。



### ③目指している将来像

耕作放棄地の有効活用

健康寿命の延長

孤独な高齢者への支援

生きがい作り支援

農福連携の推進

予防介護事業の推進

### ④企業様に向けたメッセージ

健康のために農作業が良いという話を聞いたことはないでしょうか。体を動かし収穫の喜びを味わうことで心身ともに良い効果があるといえます。とある研究結果によると75歳以上農業従事者の年間医療費が平均73万円で、農業従事者以外の75歳以上の住民の年間医療費の平均91万円と比較すると大きな差が出ているそうです。本市では、上記の取組の他、「泉佐野元気塾」「健康寿命ウォーキング」など、予防介護事業の充実を図り、高齢者が安心して暮らせる、健康で生きがいを感じる事の出来るまちづくりに努めています。

地方都市が抱える課題は日本全体の課題の縮図であり、地方での課題解決が日本全体の課題解決に繋がっていくと信じています。地域単位で出来ることは限られていますが、逆に地域単位でしか出来ないこともあると考え、まずは地方から実践する。そんな取組みを本市は推進します。

～この泉佐野市の取組みを応援、ご支援いただける企業様を募集しています～